

### 3. 今後の課題

ロケットの信頼性を維持向上させ、政策的要請と国民の期待に応えるためには、

- ・地上における十分な研究や試験の実施
  - ・継続的な打上げによる経験の蓄積
  - ・現場における技術・人材の確保や士気の維持
- が重要である。

宇宙開発利用は、地球環境対策や災害監視など広義の安全保障に重要な貢献をしており、第3期科学技術基本計画において適切に位置付けるなど、国として積極的かつ着実に推進することが重要。

# (参考1) 7号機打上げ概要

## ● 打上げ結果概要

- ✓ H-IIAロケット7号機は平成17年2月26日(土)18時25分00秒(日本標準時)、種子島宇宙センターより打ち上げられた。
- ✓ 打上げ後、H-IIAロケット7号機は予定された飛行経路を順調に飛行し、リフトオフから40分02秒後に運輸多目的衛星新1号(MTSAT-1R)を所定の軌道に投入した。
- ✓ H-IIAロケット7号機は、当初、平成17年2月24日(木)17時09分に打上げられる予定であったが、天候不良および当日発生した機体と設備間の通信不良に鑑み、打上げ日時を変更し、慎重を期して打上げに臨んだ。

## ● 軌道投入精度

	計画値(許容値)	飛行結果	誤差
遠地点高度(km)	35786 (±180)	35793	7
近地点高度(km)	250 (±4)	249	-1
軌道傾斜角(度)	28.5 (±0.02)	28.5	0.0

